

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…kyomu@aogaki.nara-u.ac.jp (奈良大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
奈良盆地における村落景観は今 —フィールドワークの成果を地図化する—		中学校社会・高等学校地理歴史教諭	6H	講義・実習
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成30年8月7日(火)	30人	土平 博 (奈良大学・教授)		
会場				
奈良大学				
【講習の概要】				
奈良盆地にみられる村落景観は、近年、大きく変貌したといえよう。村落景観の主な構成要素である集村形態、条里地割、溜池に注目して、その変容を時間軸と空間軸の双方から捉える。分析のためには地図が重要な資料になることから、諸機関の地図類の作成履歴や入手方法、読図方法を解説する。また、コンピュータを利用して、フィールドワークの成果を地図化していく。以上から、授業時におけるこれらの技能の活用について模索する。				
【小テーマ①】 最新刊の地形図に描き出された村落景観の現状			1.5H	(担当講師:土平 博)
講習形態	講義形式			
講習内容	地図帳や資料集等に掲載されている奈良盆地の村落景観の現状を紙地図(地形図)をつかって、概観するところからはじめたい。最新刊の地形図では、既刊(旧版)のものとは比べて地形図図式が変更されているために従来のものと地図表現の方法が大幅に異なるようになった。読図の方法とそれによって得られる地図情報には気を付けたい点が多々みられる。このようなことを読図作業を進めながら触れてみたい。			
到達目標・確認指標	最新の地形図図式を認識しながら、地形図の理解と既刊(旧版)地形図と異なった読図方法を認識する。			
キーワード	地形図、地形図図式、村落景観			
【小テーマ②】 旧版地形図からみた村落の原型			1.5H	(担当講師:土平 博)
講習形態	講義形式			
講習内容	明治期から昭和期に刊行されたいわゆる旧版地形図を読図しながら、変貌前の奈良盆地の村落景観を理解したい。また、明治期の地籍資料なども使いながら、地割から村落の特徴を探っていく。条里地割の残存とそれに伴う溜池や集落の景観は、これまでの奈良盆地の村落景観の特徴であった。これらは長きにわたって条里地割に関与しつつ進められてきた土地の開発や利用の歴史を物語っている。重層的にみられる村落景観を紐解いてみる。主として時間軸を注視しながら進めていく。			
到達目標・確認指標	旧版地形図の収集方法や扱い方を通して、変貌前の村落景観を理解する。村落単位や村落構成の理解と、重層的な村落景観について考える。			
キーワード	旧版地形図、地籍資料、土地利用、条里地割、溜池、集村			
【小テーマ③】 条里地割・溜池・集落からみた中近世村落			1.5H	(担当講師:土平 博)
講習形態	実習形式			
講習内容	溜池を事例にして、地理院地図の利用について説明したい。地理院地図は位置情報が得られるので、属性データを整理しながら、位置情報と連動させて簡単な主題図を作成してみたい。このことを通して地理情報システムの初歩を理解したい。コンピュータを使った簡単な実習をとまなう。			
到達目標・確認指標	地理院地図を使った主題図の作成方法を理解する。			
キーワード	地理院地図、溜池、主題図			
【小テーマ④】 地理院地図の利用			1.5H	(担当講師:土平 博)
講習形態	実習形式			
講習内容	環濠集落を事例にして、(こちらから提供する)フィールドワークの成果を整理しながら地図を作成していき、村落景観を空間軸で捉えるとともに、その変容について理解を深めてみたい。コンピュータを使った簡単な実習をとまなう。			
到達目標・確認指標	地理院地図ほかを使った主題図作成の実践と主題図から地理的事象の特徴を理解する。			
キーワード	地理院地図、環濠集落、村落景観			
試験方法	各時間は80分として、1日の最後に修了試験(40分)を実施する。			
成績評価の方法・基準等	100点満点の修了試験を実施して、60点以上を合格とする。			